

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年2月25日

九州運輸局

評価対象事業名: 利用環境改善促進等事業

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
筑豊電気鉄道沿 線地域活性化協 議会	筑豊電気鉄道株 式会社	全国相互利用IC カードの導入	なし	A	A	協議会での予算は確定できるが、国の予算が不安定である。 事業としては、計画どおり実施している。	この事業の目標を達成されたが、さらなる利便性向上に努めていただくことが望ましい。	

熊本市LRTプロジェクト推進協議会	熊本市交通局	全国相互利用ICカードの導入	なし	A	A	ICカードの利便性等について広報を行い普及、利用促進に努めたい。	この事業の目標を達成されたが、さらなる利便性向上に努めていただくことが望ましい。	
-------------------	--------	----------------	----	---	---	----------------------------------	--	--

ICカードシステム 検討協議会	一般社団法人熊本 県バス協会	熊本地域振興IC カードシステムにお いて、全国相互利 用ICカードが利用 できる環境(片利用 環境)を整備し公共 交通機関の利用環 境の改善を図るも の。	—	A	A	平成27年度には片利用環境 整備のためのSUGOCAシ ステムとの接続を完了し、総 合試験を経て合格判定のも と、サービスを開始したい。	ICカードの利便性・快適性を バス利用者へ周知するとと もに、片利用機能の導入を 図ることによって更なる利便 性の向上を図ることにより、 地域ICカードのICカードの利 用率を促進していくことが望 ましい。
--------------------	-------------------	--	---	---	---	--	--

宮崎県地域公共交通バリア解消促進協議会	宮崎交通株式会社	ICカードシステムの高度化	—	A	A	今後もICカードの利便性PRや利用ポイント付与など効果的なキャンペーンを実施し、カードホルダーの増加や利用促進に向けて取り組んでいく。	今後も、全国系交通ICカードの利便性・快適性をバス利用者へ周知し、ICカードの利用率を促進していくことが望ましい。なお、本事業は平成26年度補正予算を加えての事業であり平成27年11月をもって終了した。	
---------------------	----------	---------------	---	---	---	---	---	--